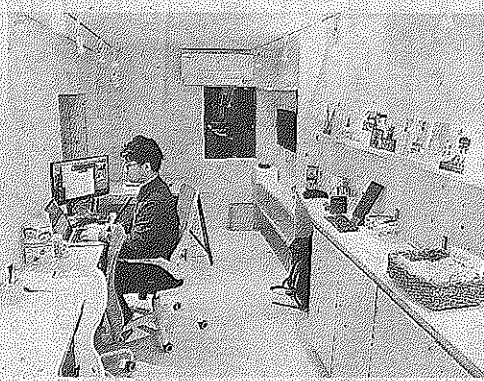


## 宮 崎 日 日 新 聞

宮崎自動車道上り線の山之口サービスエリア(SA)に20日、全国の高速道路では初となるコワーキングスペース(共有オフィス)がオープンした。同スペースの運営などを手掛ける九州アイランドワーク(宮崎市、馬渡信佑社長)が設置。馬渡社長(38)は「高速道は多くのビジネスマンが利用しているのに仕事ができる場がなく、ゼ



宮崎自動車道上り線の山之口サービスエリアに設置されたコワーキングスペース。20日午後、都城市山之口町(野村有未撮影)

## 山之口SAに共有オフィス 高速道で全国初

ひ活用してほしいと話している。

同社は宮崎大、NEXCO西日本九州支社と連携し、2021年3月までの社会実験として開設した。同スペースは、約11平方メートルのトレーラーハウスを利用し、室内には無線LAN(Wi-Fi)や電源コンセント、USBポートも設け、会議用のテーブルを設置した。定員8人で、料金は1時間200円。利用時間は午前8時～午後7時となっている。

利用するには同スペースの近くで専用の「KIWAアプリ」をダウンロードし、会員登録とクレジットカード登録が必要。アプリ上に表示される暗証番号を入力すれば入り口が解錠される。

今後は利用者にアンケートを実施し、結果を踏まえて運用の在り方などを検討する。NEXCO西日本九州支社は「SAに立ち寄る目的にもなる。出合いの場となり、新たなビジネスにつながる」としている。(渕上耕明)

★「プレみや」にも掲載